

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E111C015		算数(小) (Arithmetic (elementary school))							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	1	教育学部 令和2年度以降入学生用		金4	日本語		クラス分け						
担当教員	氏名 川寄道広, 河村真由美													
	E-mail mkawasa@oita-u.ac.jp, kawama@oita-u.ac.jp 内線 7567 , 7661													
授業の概要	小学校算数科の教科書に記されている数学的内容について理解する。また, それぞれの領域のもつ特徴について理解し, 2年次の算数科指導法(小)につなげる。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 算数科の教科書に記述されている内容を理解し, 問題を解決できる。								○						
目標2 算数科の技能について確実に習得し, 用いることができる。								○						
目標3 数学的な見方, 考え方について理解し, 働かせることができる。									○					
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								5		5				
授業の内容														
1 算数科の学習指導要領の指導内容について														
2 数と計算領域の指導内容 ~数を中心に~														
3 数と計算領域の指導内容 ~計算を中心に~														
4 測定領域の指導内容														
5 変化と関係領域の指導内容														
6 図形領域の指導内容														
7 データの活用領域の指導内容														
8 まとめ														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ラーニング	A:知識の定着・確認		○教科の内容について解説するだけでなく, その解説に基づいて児童の理			工夫その他の								
	B:意見の表現・交換		○解を深める活動を取り入れる。											
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		参考書や授業で紹介する書籍を読むこと(8h)											
	事後学修		授業で提示する課題を解決すること, 授業で学習した内容を深めること(15h)											
	想定時間合計		23											
教科書	なし													
参考書	文部科学省『小学校学習指導要領解説 算数編』日本文教出版, 2018, ISBN 9784536590105													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業内での問題解決を通してのパフォーマンス評価		20%	○	○	○							
	算数科の知識・技能の習得を確認する課題提出		20%	○	○								
	提示する課題の解決の程度を評価		60%	○	○	○							
注意事項	なし												
備考	なし												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の実務 経験	非常勤講師として高等学校数学科の授業を担当した経験がある（川崎） 21年間、公立高等学校教諭としての勤務経験がある（河村）												
実務経験を いかした教育内容	質の高い教育実践を行うために、数学教育実践の理論と基盤となる構成概念を講義する。												